

高規格幹線道路等の整備促進について

北信越部会提出
説明担当 坂井市

道路網の整備は、沿線地域の一体的な発展を担うと同時に、産業・観光振興などの地域経済発展、また災害時の緊急輸送・救急医療活動の支援等地域間格差を解消するための重要な課題であります。

特に、福井県内の高規格幹線道路である中部縦貫自動車道及び舞鶴若狭自動車道は、大都市圏との交流促進及び地域の発展並びに福井都市圏の連携（地域と都市部）と自立において必要不可欠なものであります。

また、これらの高規格幹線道路と一体となって港湾などの広域交通拠点との連結及び産業振興を促進するための道路として、地域高規格道路を併行して整備することでより大きな効果が生まれます。さらに、国道8号を初めとした一般国道においても、他の広域交通拠点との連携をより一層強化することができます。

つきましては、福井県内を通過する二つの高規格幹線道路及び地域高規格道路等の必要性・重要性を鑑み、下記の事項について強く要望いたします。

記

- 1 中部縦貫自動車道について、永平寺大野道路の整備促進及び大野油坂道路全線の早期事業化を図ること。
- 2 舞鶴若狭自動車道について、小浜西一敦賀間の一層の整備促進を図り、全線供用開始を早期に実現すること。
- 3 福井港丸岡インター連絡道路等地域高規格道路の整備について、早期事業着手を図ること。
- 4 国道8号を初めとした真に必要な道路の整備を着実に推進するため、必要な財源の確保を図ること。